

今年の冬は暖かいな、と思っていたところ関東地方を除いて、寒波による降雪の情報が各地から寄せられ、なんと沖縄気象台は「1月24日、非常に強い寒気の影響で、名護市と久米島町でみぞれを観測したと発表しました。沖縄で雪が観測されたのは、約39年ぶり史上2回目で、1977年2月17日以来」との報道がありました。約40年前にも、沖縄県でも雪が降ったことがあるとのこと。

2月17日には春一番も吹き、これから三寒四温を繰り返しながら少しずつ春に近づいていくと思われれます。春の到来が待ち遠しくなってきました。

【校長室より】

子どもをやる気にさせる叱り上手

表題の言葉のある雑誌から見つけました。「我が子を見ていると、あれもこれも身に付けさせたい、どうしてこんなことができないのなどと叱ることが多くなってしまい、叱ってからは親として悲しくなってくる。」という、親になると誰もが何回かは体験したことのある文章を目にしました。そこで、今回は「子どもをやる気にさせる叱り方」について、整理してみました。

- ・ あっさりとピシッと叱る。
(長時間の叱りは、逆に反省心を消してしまう)
- ・ 事実を叱り、人を丸ごと叱らない。
(人格をつぶすような叱り方はしない)
- ・ 一貫性のある叱り方をする。
(何を叱られているのかがわかるように叱る)
- ・ 叱りを3分、褒めを7分と意識する。
(叱りだけだと反抗心が起きてくる)
- ・ 誰かと比べての叱りは効果無し。
(比べられている者への反感が生まれる)

いかがでしょうか。私自身も子育てをしていて、自分の感情で声を荒げてしまったことが何度もあり、後味が悪かったのを覚えています。兄弟姉妹でも性格が違っていると叱り方を変えていかななくてはなりません。褒めるよりも難しいといわれる叱り方ですが、親(人生の先輩)としての心の余裕をもって、上手な叱り方を意識していきたいものです。

(校長：木村 仁)

通学路の安全

最近、登下校中の児童が交通事故に遭うといった報道が多くなされています。

旭市では、児童の交通安全確保の一環として旭市通学路交通安全プログラムが策定されました。そのプログラムは、児童の交通安全確保のため、学区の通学路の状況調査を実施し、改善が必要な箇所を警察や道路関係者に報告し、通学路の安全を図ることを目的としています。

本校は、27年度28年度の2年に亘り、PTAの役員の皆様や旭警察署交通課、県海匠土木事務所、建設課等の関係者に参加していただき、通学路合同会議の開催や通学路の合同点検を実施しました。以前から区長さんやPTAの役員の方からの働きかけがあったこともあり、予算面や物理的に不可能なことを除いて前向きに検討していただきました。

その結果、溝原地区から下りてくる多古・笹本線の関戸ふれあいセンター付近に、横断歩道が設置されました。本来であれば、信号機の設置が望ましいのですが、待っているスペースがないので設置できないとのことでした。

また、萬歳1区方面から学校にかけての萬歳自動車の裏側の道路に側溝が整備され、道路幅も若干広くなりました。車とすれちがう度に道路外に退避しなければ安全が確保できなかったのが、多少なりとも改善されそうです。



不審者対応避難訓練 なわとびパフォーマンス&なわとび教室

先月は消防署の方に来ていただいたの避難訓練（火災対応）を実施しました。2月3日（金）には、旭警察署生活安全課の方2名に来ていただいて不審者対応避難訓練を実施しました。最近は、不審者にかかわる報道は少なくなったように思いますが、学校代表メールには、旭市不審者情報がたびたび送信されてきており予断を許さない状況にあります。



不審者対応の合言葉「いかのおすし」を題材とした映像資料を視聴し、6年生代表児童による寸劇を行いました。その後、警察官の指導をいただいて、不審者への対処方法を学びました。

- 「いかのおすし」は、
- 『イカ』… 知らない人についてイカない。
 - 『ノ』…… 知らない人の車にノらない。
 - 『オ』…… オおきな声を出したり防犯ブザーを鳴らす。
 - 『ス』…… 怖かったら大人のいる方にスぐ逃げる。
 - 『シ』…… どんな人が何をしたのか家の人にシらせる。
（千葉県警ホームページから）

この5つのかしら文字をとった防犯標語です。

これは、学校における不審者侵入による痛ましい事件をきっかけに、平成16年度にセーフティー教室を開催する際、「こどもたちの心に残るインパクトのある防犯標語」として、警視庁少年育成課と東京都教育庁指導企画課が考えだしたものだそうです。子ども達は、給食の牛乳のイラストで毎日のように目にしています。



また、地域には「子ども110番の家」にご協力をいただいているご家庭や店舗等もあります。萬歳地区には、100近くの「子ども110番の家」があります。通学路やふだんよく遊ぶルートにある「子ども110番の家」をご家庭でも確認ください。また、「子ども110番の家」が近くにないときには、遠慮せず近くの家を協力を求めたり逃げ込んだりすることが自らの命を守ってくれることを家庭でも機会をとらえて話してみてもいいでしょうか。

2月6日（月）になわとびパフォーマンス&なわとび教室が開催されました。講師として、生山ヒジキ氏をお招きし、フリースタイルロープパフォーマンスと低中高に分かれてのなわとび指導をしていただきました。



当日は、ご多忙中にもかかわらず20名近くの保護者の参観もいただきました。生山氏は、現在6つのギネス記録を持っているとかで、5重跳びを実演していただきましたが、縄が5回まわっているのかさえ目で追えませんでした。



指導いただいたポイントで新たな技ができるようになった子やいまだに根気強くなわとび練習を続けている子もいます。

生山氏によるとなわとびの効能として、「単純な運動ではあるのですが、健康には非常によいです。まず、全身の筋肉を持続して使うことで、心肺機能が向上します。また、技を繋げることで、リズム感や敏捷性が養われます。さらに、内臓機能の向上、ストレス解消、健康管理増進など、様々な効果が得られます。最近は縄跳びダイエットなるものがあります。ジョギングと同じくらいのカロリーを消費する」とのことです。

無理のない程度に前跳びからお子さんと1日に10回くらいからはじめて、少しずつ回数を増やして試してみてもいいでしょうか。

あとながき

早いもので平成28年度もあと残すところ一か月あまりとなりました。2月23日24日には学力検査を実施します。子ども達も、学習した内容の復習をして、進級、進学準備を進めているところです。あと一月もすると桜の開花の便りが聞かれます。学校も、総まとめの時期です。

